



第2分科会

親と先生のしゃべり場

「困っている子どもと向き合って」

助言者 関根 幸子 東北小教員
羽田野 健 臨床心理士

司 会 戸沼 明子
記 録 綾木 健一郎



助言者紹介

◆関根 幸子 (東北小教員)

5年生の担任をしており、幅広い学年の担任を経験。担任としての役割、学校内での教師集団の役割の中で中堅・若手の教員と一緒に切磋琢磨しながら、子どもや保護者と向き合っている。

◆羽田野 健 (NPO 法人ロッコ 臨床心理士)

主に発達障害を持っている成人の就労支援を行い、社会でより良く生きていくために必要な技術、ストレスの減らし方、コミュニケーションのとり方を指導している。高校のスクールカウンセラー、小学6年生の学習支援、技能五輪に出ている企業のメンタルトレーニングも行っている。

参加者紹介 (計 10名)

- ・ 学童の指導員
- ・ 小3の父親
- ・ 4歳と小3の父親
- ・ 小3の母親
- ・ 保育園保護者連絡会
- ・ 子育て経験者
- ・ 小3、小5の母親
- ・ 小5、小2の母親
- ・ 元教員
- ・ 元教員

(司会) 本日は「親と先生のしゃべり場」として、皆様で意見交換をしていきたいと思います。現在、本人がどうしていいか判らず、困っている子どもがいます。運動会や新学期に落ち着かなくなる。一年間で先生に慣れた子どもでも、学年が変わると新しい先生に慣れない。こういう状態は、継続して見ていくのが大切なのではないかと思います。

(G) 自分の子どもは、上の子がアスペルガで国語力に問題があります。下の子は不登校なんですけど、深刻には捉えずにと言われました。でも漢字が書けないのです。具体的には、上の子は集団が駄目な様です。下の子は嫌な事は嫌と言えるのです。でも、上の子は表面上仲直りしたら終わり、答えが見つ

づらく、解決しにくいのです。本人は、謝られた、許したで終わりで、自分の気持ちに気づいてないのが不安です。

(羽田野) 解決するにしても、言葉にするのが難しい年齢ですから。書くのが苦手、カタカナが苦手なのですね。

(関根) 長音が使えなかつたりする子はいっぱいいますね。

(羽田野) 子どもさんの優れているところはどこですか？

(G) 算数では暗算です。でも、筆算や文章題が駄目になります。ゲームは好きです。図工は何を作っているのか分からない。体育も好きだけど、動きがぎこちないです。でも、走るの好きな様です。

(羽田野) その子の「強み」を見つけてあげる事が大切です。働いて社会生活をおくる上で重要になります。その子の「武器」になる様に、つまり、自分の強みになれば良いのです。それが問題解決になります。強みとは、何かの問題を解決できる事、その人の中で優れている事、自然にやれる事です。誰がどう評価するかで、その評価は変わります。その子の出来るところ、強みを見つけてあげましょう。得意な事や、今出来る事を伸ばしていくことです。ネガティブな言葉と、ポジティブな言葉とでは、ホルモンの分泌量が違ってくるそうですよ。その子の抱えている問題を考えてみましょう。例えば、ベタベタするのが、その子のコミュニケーションスキルなのかもしれません。何が出来るかを見てあげる。走る事が好きならば、走る事を。ポケモンカードが好きならば、一緒に遊んであげてはどうでしょうか？

(G) ウノやオセロは一緒にやります。

(羽田野) 遊んでいると性格が出ますね。

(司会) 昔、ポットトイレのバキュームカーで吸い込む場所の蓋を集めていたという問題児がいました。各家庭では大変困りますよね。それで、その子が怒られてしまったんです。その子に後で聞いてみたら、自分でも何故集めていたのかが判らないって言うんです。多分、道端にある面白い物を集めていたという感じなんじゃないかなと思います。そんな風に、何か1つに夢中になるんですよね。その後は、釣りや魚拓に夢中になったりしていました。今では、その子は学校の先生になっていますけど、今ならアスペルガ又はLD(学習障害)

って言われていたんじゃないでしょうか。そんな風に決め付けない事、周りの人がレッテルを貼らない事が必要だと思います。

(F) 或る子どもが、1年生の時に先生に噛みつきました。理由は面白い事を止めたくなかったから。また、拾った石を宝物にしていたら、それを上級生に捨てられた時に、その石を捨てた上級生の家に文句を言いに行ったら、変だと言われた。ただの石なんだからと。でも、その子にとっては宝物なんですね。そういう風に、個性と障害との境はどこなのでしょう？

(G) 私は子どもがアスペルガや多動で、困っている事が多いです。そして、何も出来ないという気持ちが強い。この子を大目に見て欲しい。叱られる機会を少なくして欲しい。でも、学校で違う扱いをする事は診断名が無いと出来ないそうです。

(F) 就職先でアスペルガの人達も良い特性を把握すれば成果が上がると聞きました。上司の理解があればいいんですけどね。

(G) フリースクールとか・・・、先生の一言が親に与える影響が大きいですね。信頼して話せる先生が増えるといいですね。

(羽田野) 学習障害の方々を支援する法律が制定されたのが6年前です。学習障害には遺伝が関与していると言われてはいるのですが、学習障害の方が適応しにくい環境になってきているのでしょうか。

(D) そつなく出来る子どもでも、学年が上がると余裕が無くなってきますね。特に新任の先生はカリキュラムが遅れたりします。社会の仕組みに余裕が無いのかもしれませんが。なるべく失敗しない様に、そして怒られない様にしようとしてチャレンジしなくなります。全ての子どもが抱えている問題かもしれません。

(I) 小学校3年生くらいは抽象思考が始まる頃であり、性への入り口でもあるのですが、障害のある子にとっても問題となる頃ですね。新たな自分作りが重要になります。

(G) 女の子は初潮の前が不安定なのでフォローしなければいけないと思います。

(I) そういう障害のある子にとっては、自分への興味があるので、性教育は

単に駄目と言うのではなく、説明が必要でしょうね。

(司会) 小学校の性教育はどうなっているのでしょうか？

(関根) 1年生ではトイレの使い方を学びますね。性教育は、学科の中に組み込まれています。

(F) 私の時には5年生になった時に、保護者にも子どもに見せる同じ性教育のスライドを見せてもらいました。

(司会) 性教育ではなく、生きてゆくという学習で保護者も一緒に考えていく事が重要なのでしょうかね。

(関根) 小学校3年生といえば、2年生までが1クラス35人学級ですが、3年になると急に人数が増えます。そして5~6年生は経験豊富な先生、1~2年生は新任の先生では大変という事で中堅の先生、3~4年生が若手の先生になりやすいです。最近は親が失敗を恐れて「転ばぬ先の杖」を出し過ぎる。失敗から学ぶ事もあります。何事でも一度に出来なくてはならないわけではありません。出来ない事はスルーしてもいい。縄跳びで言うと、新しく出来るようになった子どもが、まだ出来ない子どもに教えた方が、うまく教えられて良い事もあります。出来なくてもチャレンジする。だめもとでやってみようとする子どもが少なくなりました。

(J) 或る子どもが、林間学校を励みに学校に通っていたのですが、その後の夏休みを学校で過ごす、9月から学校に行けなくなるという事がありました。自分に自信があるものが無いから学校に行けない。勉強が嫌だ、したくないという事で。

(羽田野) 一日出席しなければならないという重圧がありますし、周りの目が気になりますからね。

(関根) 新座市の土曜日授業はFAX一枚で始まりました。そして、土曜授業の振替授業が無い。子どもは疲れて、新任の先生は準備に追われている。教育委員会の理由としては、中学校の授業が少ない、学校を地域に公開して保護者や地域に協力していただきたいという事です。市の事業で行っているから一時間でも公開しないと法令上は出来ません。授業を増やしたからといって、学力が上がるという事ではありません。子ども自身が疲れています。

(司会) ココフレンドもそうですね。いきなり市側の指示で始まりました。急にというのは止めて欲しいですね。また、ココフレンドは午後5時には終わるので、現状を見ていますと学童保育の代わりにはならず、本当の意味で大規模化の解消にはなっていません。

(F) これから共働きが増える事が予想されますので、学童を充実させるためにお金と知恵を使って欲しいですね。

(司会) 困っている子どもや親に対する支援、支える側の気持ちのあり方の大切さ、私も子どもと接する仕事をしていますので、言動には注意しながら皆で支えていきたいと思います。

(羽田野) 皆さん人それぞれが問題意識を持ち、そこに圧倒されそうになる事もあるかと思いますが、どこに光明が射しているのかを頭に常に投げかけていただければ、すぐにではなくても道が見えてくるのではないかと思います。

(関根) 保護者の方がいろいろな場所で声を掛けられる先生に、困っている事に対して相談していただければ、一つでも二つでもヒントがありますので、引っ込まないで声をかけたり相談して欲しいと思います。

申し合わせ事項

* これから未来を担う子どもたちのために、各方面 (教師・学童・地域・親) がつながりを持ちましょう。

* 母親大会を周りの人たちに伝えていきましょう。

市への要望事項

1. 全学年1クラス30人学級を導入して下さい。
2. 臨時採用教員を廃止して、地域に根ざした教員配置をして下さい。
3. 新事業や年間の行事を決定する際には、現場の声も聞いて下さい。
4. 年間8回の土曜日授業による子ども・教師の負担を考慮して下さい。
5. 学童保育室の狭隘化対策ではなく、保育室を増設して下さい。